

平成 26 年 3 月新幹線ダイヤ改正について

平成 26 年 3 月に新幹線ダイヤ改正を実施する。

1. ダイヤ改正内容

(1) 「のぞみ 10 本ダイヤ」の実施

◆新大阪駅大規模改良工事（27 番線新設、引上線 2 線増）の完了及び N700A の新車投入による 700 系から N700A への置き換えを順次進めたことなどにより、今改正から東海道新幹線では「のぞみ 10 本ダイヤ」を実施する。これまでは下りの一部時間帯（東京発 7・8・17・18・19 時台）に限り、最大 10 本の「のぞみ」が設定可能だったが、改正後は上下ともにほぼすべての時間帯で 1 時間に最大 10 本の「のぞみ」を設定することが可能となる。繁忙期などに、お客様のニーズに応じて、これまで以上に弾力的に臨時列車を設定することを可能とする。

≪ 1 時間あたり最大 10 本の「のぞみ」が運転可能な時間帯 ≫

【下り】 東京発 7 時 ~ 20 時台

【上り】 東京着 9 時 ~ 21 時台

≪ 東京駅 「のぞみ」時刻表のイメージ ≫

【下り】（発時刻）

時間帯	発時刻									
	00	06	16	20	30	43	47	50		
6時	博	大	博	大	博	大	大	博		
7時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
8時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
9時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
10時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
11時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
12時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
13時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
14時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
15時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
16時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
17時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
18時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
19時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
20時	00	10	13	20	23	30	40	47	50	53
21時	00	10		20						

【上り】（着時刻）

時間帯	着時刻									
		20	26	30	43	50	53			
8時		名	大	大	大	大	西			
9時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
10時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
11時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
12時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
13時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
14時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
15時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
16時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
17時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
18時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
19時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
20時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
21時	03	13	20	23	30	33	43	50	53	56
22時	03	13	20	23	30	33	43		53	56
23時	03	13	19		29	32	42			45

□：新たに運転可能となる臨時「のぞみ」（10 本目の「のぞみ」）

(2) 一部「のぞみ」の所要時間短縮

◆毎時3本の「のぞみ」の所要時間を東京～新大阪間で3分程度短縮する。定期「のぞみ」163本のうち37本の列車の所要時間を短縮し、利便性を向上する。

《東京～新大阪間の所要時間を短縮する「のぞみ」》

【下り】

東京発		40分	47分	50分
		定期・臨時	臨時	定期
所要時間 (東京～新大阪)	改正前	2:36	2:36	2:36
	改正後	2:33 (Δ3分)	2:33 (Δ3分)	2:33 (Δ3分)

【上り】

東京着		53分	56分	03分
		定期	臨時	定期・臨時
所要時間 (新大阪～東京)	改正前	2:36	2:36	2:36
	改正後	2:33 (Δ3分)	2:33 (Δ3分)	2:33 (Δ3分)

《毎時3本の「のぞみ」の所要時間を短縮する時間帯》

【下り】 東京発 9時～16時台

【上り】 東京着 10時～22時台

(注) その他の「のぞみ」でも所要時間を短縮する列車がある

(3) 岐阜羽島・米原に停車する「ひかり」の所要時間短縮

◆東京毎時33分発（上りは東京毎時10分着）の岐阜羽島・米原に停車する「ひかり」の所要時間を、東京～新大阪間で3分程度短縮する。東京～岐阜羽島、東京～米原の所要時間もそれぞれ短縮し、「ひかり」の利便性を向上する。

(注) 岐阜羽島・米原に停車する「ひかり」でも、一部所要時間を短縮しない列車がある

《東京～新大阪間の所要時間を短縮する「ひかり」》

【下り】

東京発 33分		着 駅		
		岐阜羽島	米原	新大阪
所要時間 (東京～各駅)	改正前	1:58	2:15	2:57
	改正後	1:56 (Δ2分)	2:12 (Δ3分)	2:53 (Δ4分)

【上り】

東京着 10分		発 駅		
		岐阜羽島	米原	新大阪
所要時間 (各駅～東京)	改正前	1:59 ↓	2:15 ↓	2:57 ↓
	改正後	1:56 (Δ3分)	2:12 (Δ3分)	2:54 (Δ3分)

《岐阜羽島・米原停車の「ひかり」の所要時間を短縮する時間帯》

【下り】 東京発 9時～16時台
【上り】 東京着 10時～22時台

(4) 「ひかり」「こだま」へのN700系充当拡大

◆700系からN700Aへの置き換えを順次進めたことで、N700系で運転する「ひかり」「こだま」を拡大する。N700Aは平成25年度末までに13編成を投入するが、平成25年3月改正と同様にN700AとN700系は共通運用とする。ダイヤ改正時点では、定期列車全体の約8割(243本/312本)の列車を、N700系で運転する。

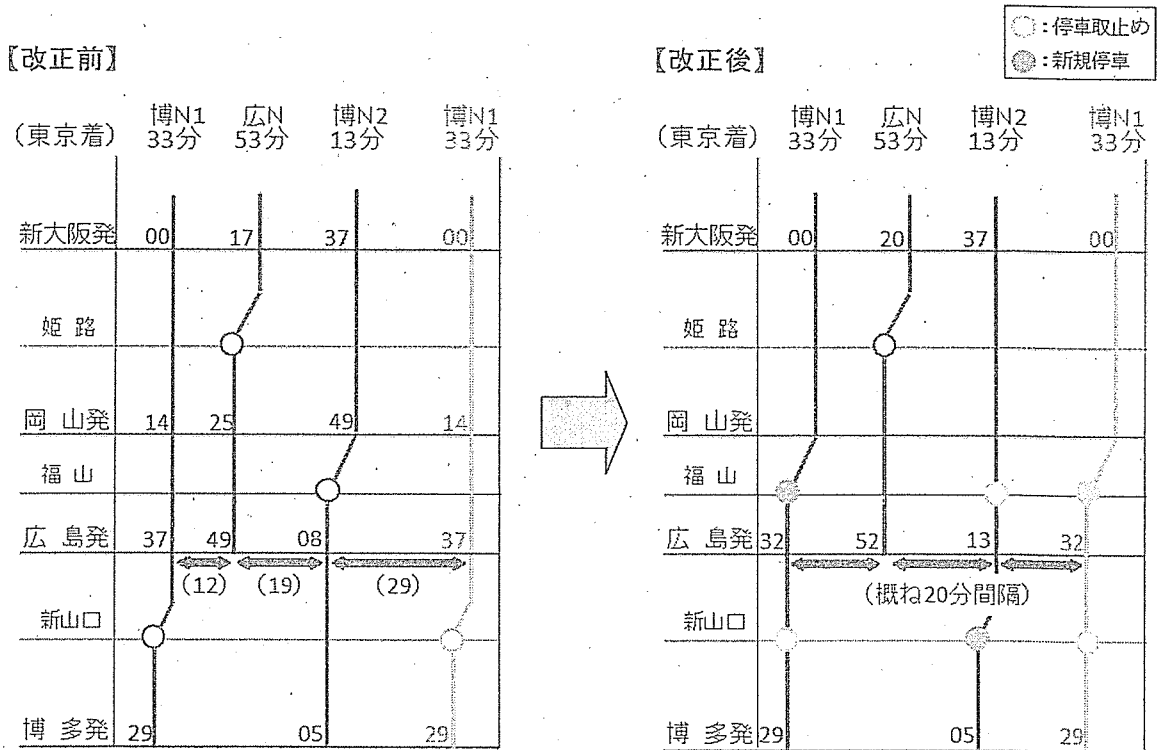
《N700系で運転する定期列車本数》

		平成25年3月改正	平成26年3月改正	増 減
充 当 本 数	のぞみ	163本	163本	±0本
	ひかり	19本	39本	+20本
	こだま	26本	41本	+15本
	合 計	208本	243本	+35本

(5) 広島駅 昼間時間帯の直通「のぞみ」の発車間隔均等化

◆博多「のぞみ」の山陽新幹線内での停車駅付替えを行い、これにあわせて広島駅での直通「のぞみ」の発車時刻の見直しを行う。広島から名古屋・首都圏方面へ向かう「のぞみ」(上り)を、昼間時間帯で概ね20分間隔と均等化することで、利便性を向上する。

《直通「のぞみ」の停車イメージ(上り)》



(6) その他

◆東海道新幹線の設定本数(定期+季節)比較

	改正前	改正後	増減
のぞみ	173本(10)	173本(10)	0本
ひかり	65本	65本	0本
こだま	85本(1)	85本(1)	0本
合計	323本(11)	323本(11)	0本

※()内は季節列車の内訳

2. 列車設定キロ

列車設定キロに変更はない

3. ダイヤ改正日

平成26年3月15日(土)

《参考資料》

新幹線の改正諸元

○改正諸元（基本となる定期及び季節列車）

列車本数

(単位：本/日)

	現行	改正(26年3月)	増減
のぞみ	173	173	0
ひかり	65	65	0
こだま	85	85	0
計	323	323	0

列車キロ

(単位：キロ/日)

	現行	改正(26年3月)	増減
のぞみ	87,616	87,616	0
ひかり	32,098	32,098	0
こだま	29,037	29,037	0
計	148,751	148,751	0

車両キロ

(単位：キロ/日)

	現行	改正(26年3月)	増減
のぞみ	1,401,856	1,401,856	0
ひかり	513,568	513,568	0
こだま	464,592	464,592	0
計	2,380,016	2,380,016	0

平成 25 年 12 月 24 日

新大阪駅引上線路増設に伴う要員体制の見直しについて

関 西 支 社

新大阪駅引上線路増設に伴い、大阪仕業検査車両所及び大阪仕業検査車両所新大阪支所における申告業務に増減が生じるため、要員体制を以下のとおり見直す。

1. 要員体制の見直し

箇所	現行	改正	要員増減
大阪仕業検査車両所（申告）	日勤×3 交代4形×2 変形12形×2	日勤×2 交代4形×2 変形12形×2	△1
大阪仕業検査車両所 新大阪支所 （申告）	日勤×1 交代8形×1 変形7形×1	日勤×1 交代8形×1 変形7形×2	+3

2. 実施時期

平成 26 年 3 月 15 日

以上